



# 6月「あゆみの森こども園」たより

令和3年5月31日

浜北区寺島2889-1  
TEL 053-585-2345  
FAX 053-585-2344

アジサイが、綺麗に色づき始める季節となりました。

子ども達の笑い声が園庭に響いています。幼児クラスは、園庭で泥んこ遊びをしています。水の流れ方、崩れないお団子の作り方など、一つ一つ実験をしているようです。乳児クラスは、涙が止まり、好奇心の芽が芽生え、いろいろな物に興味を示しています。「不思議だな」「面白いな」と感じる心を大切にしていきたいと思っています。

曜日	行事予定	お知らせ・お願い
1 火		○4日 避難訓練 雨が降っているときの避難の仕方を訓練します。
2 水		○9日10日 身体測定
3 木		記録を持ち帰りますので、お子さんの成長をご確認ください。
4 金	避難訓練	○10日 歯科検診 対象：全園児(てんし組は、歯が生えている園児) 時間：9：30～11：00 歯科医への受診が必要な場合のみお知らせします。
5 土		○16日 誕生会 6月生まれもお友達をみんなでお祝いします。先生からの出し物のプレゼントもあります。
6 日		○25日 保護者参観会(幼児) 対象：にじ組、ゆめ組、そら組 時間：にじ組→9：00～10：00 ゆめ組→10：30～11：30 そら組→13：00～14：00 14：00～14：50 親子講座(命の大切さ)
7 月		コロナウイルス感染防止対策のため、給食参観は行いません。時間を区切り、なるべく密を避けるようにします。場所は、ホールです。参加は、園児1人につき1名でお願いします。詳しくは、後日、手紙でお知らせします。
8 火		○28日 プール開き(幼児) プール遊びを楽しく安全に行えるようにお話をしていきます。また、プールの行い方もなるべく密を避けるようにしていきます。
9 水	身体測定(幼児)	<お知らせ> 5月から、そら組は、サッカー教室を始めました。子ども達はやる気のスイッチが入り、とても楽しそうです。6月からは、ゆめ組そら組の2クラスが行います。ゲームができるようになるのが楽しみです。
10 木	歯科検診 身体測定(乳児)	・コロナウイルス感染が収まりません。子どもたちの安全のため、感染防止対策を確認しましょう。
11 金	親子ひろば	●園では・・・ ・手洗い習慣の徹底 ・室内の換気 ・集合する活動の間隔確保 ・早番・遅番保育の人数制限 ・玩具、室内の消毒 ・食事前のテーブルなどの消毒 ・クリーンエアゲルの設置 ・マスクの着用(熱中症に気を付けながら、できる限り着用していきます)
12 土		
13 日		
14 月		
15 火		
16 水	誕生会	
17 木		
18 金		
19 土		
20 日		
21 月		
22 火		
23 水		
24 木		
25 金	保護者参観会(幼児)	
26 土		
27 日		
28 月	プール開き(幼児)	
29 火		
30 水		

		●ご家庭では・・・ ・毎日の検温 ・手洗いうがいの励行 ・感染拡大地域への不要不急の外出中止 ご家庭でも、免疫力を高めるため、「早寝、早起き、朝ご飯」など規則正しい生活習慣が身につくようにしていきましょう。
--	--	---

## <7月の行事予定>

- \*乳児保護者参観会はコロナ感染防止の観点から、年間予定とは変更になっています。
- 1日(木) 保護者参観会(わかば組) 10：00～10：50  
2日(金) 保護者参観会(てんし組) 8：50～9：40  
(ひかり組) 10：20～11：10  
密を避けるため、曜日と時間を分けました。場所は、ホールになります。ホールへの移動を含めた時間です。
- 3日(土) 後援会夏まつり準備  
5日(月) プール開き(乳児)  
7日(水) 七夕会  
8日(木) うどん打ち体験(そら組)  
9日(金) 元気アップセミナー講座(対象：保護者) 13：30～14：30  
後日、出欠をとらせていただきます。
- 14日(水) 誕生会  
16日(金) 親子ひろば  
17日(土) 夏まつり(今年度も園児のみの参加となります)  
21日(水) エアパーク(ゆめ組、午前中のみ)  
30日(金) 31日(土) お泊り保育(そら組)



## お目を拝借

読み聞かせは、心の脳に届く～「ダメ」がわかって、やる気になる子に育てよう～

先日、東京医科歯科大学大学院教授 泰羅雅登氏が書かれた「読み聞かせ」についての本を読みました。その中で、面白いことが書かれていたので、ご紹介させていただきます。

人間の脳は、3つの層でできています。そして、生きていくために必要で、重要な部分から順に形作られていきます。まず、心臓を動かしたり、呼吸をしたりする「爬虫類の脳」です。次に、生き抜くために必要な「旧哺乳類の脳」です。これは、わが身を生きし続けていくのに必要な脳で、「いやな思いをしたからもうしない」「褒められてうれしかったから、またやってみる」という行動を生む脳です。だから、乳幼児期のときに、心の脳が、保護者から良い刺激を受けると情動が豊かになり、心身共に育っていくというとても大切な脳です。その次に、人間らしい行動をつかさどる「新哺乳類の脳」です。3つの連合野からなっています。そして、このうちの前頭連合野の働きが重要で、怖い悲しいうれしい楽しいがしっかりとわかり、心の脳が健全に育つように働き、豊かな人間性を育みます。ここは、未発達な分野なので成長し続けるように働きかけることが重要です。音読や計算など基本的な学習が有効です。

読み聞かせは、この「心の脳」を育てるのに効くということを、実際に脳波を調べて実証した様子が書かれていました。また、タブレットなどの機械的な声では脳に刺激が与えられず、生の人間の声が大切なことも書かれていました。

この本を読みながら、わが子と絵本の中の主人公になり、一緒にドキドキしたり、ほっとしたりしたことを思い出しました。ほっこりとあたたかな空間を作ることができる読み聞かせを懐かしく思いました。皆さんもぜひ、楽しんでみてください。